



NISSAN MOTOR CORPORATION



栃木工場の見学



自動車ができるまでを説明してもらいました。

5年生の社会科では、「自動車を作る工業」について授業で学んだよ。日本の自動車が世界で売れている理由を考え、自動車づくりにたずさわる人々は、「よりよい自動車をたくさん作るには、どのような工夫や努力しているのか」を学習課題にして、調べ学習をしているんだ。でも、教科書だけでは分からないことを学ぶため、12月6日（水）に『日産自動車栃木工場』を見学したんだ。とっても広い工場内には、作っている途中の車がたくさんあったよ。エンジンは大きくて迫力満点！実物を見ることで、改めて気付いたことや分かったことを「学習のまとめ」にしっかりと生かしてね。

日産自動車工場を見学して、1台の自動車を作るのに24時間かかることや、デザイナーが車のデザインを考え、粘土で本物と同じ大きさの模型を作って安全や性能を考えながら車を作ることが分かりました。また、車のパーツはサビに強く、軽くて強度のあるものを使うことや、人の手や機械で約3万個の部品を組み立てることも分かりました。ぼくは、工場を見学して、車を作ることは、とても大変なんだなと思いました。 埴 晶斗



自動車工場の帰りに「栃木県子ども総合科学館」も見学したんだ。生命の科学、エネルギーの科学、宇宙の科学の他、様々な展示物があって楽しく学習できたよ。

私は、日産自動車工場を見学していろいろな事を学びました。組み立てラインでは、車自体が上下に動くことで、作業する人の体への負担軽減や作業の分担などの工夫がありました。また、普段は見られない作っている途中の車体や大きなエンジンなどを見て作業工程をよく理解できました。最後には、工場で働く人もやっている「ピンボード」を体験し、グループで意見を出し合い協力することの大切さを学びました。 伊藤 舞



H-II ロケットって大きい！